

「森のコーヒー生産者グループ」 に新しいメンバーが加わりました。

「森のコーヒー」が、ジョン・ネットさんの「サント・アントニオ農園」のコーヒーよりスタートし、すでに20年以上が経過し、「森のコーヒー生産者グループ」も、ジョン・ネットさん、リカルドさん、エンリケさん、クラウディオさん、パウリーニョさん、イタジバさんなど、現在では8人以上に増えてきました。

この間、お蔭様で「森のコーヒー倶楽部」の会員数も順調に伸び、安心・安全の「森のコーヒー」をお楽しみいただくお客様の輪も、だんだんと大きくなってまいりました。

ジョン・ネットさんが、「サント・アントニオ農園」で「森のコーヒー」を始めた時の発想は、「コーヒーが生まれた場所は、エチオピアの森の中。コーヒーの生育にとって理想的な環境は、森のように色々な木々、たくさんの種類の動物、昆虫、微生物のいる環境。そんな環境の農園を作りたい。」でした。

私達のミッションも、ジョン・ネットさんと知り合ってから、「ジョン・ネットさんと同じような考え方で作られた農薬不使用・化学肥料不使用の『森のコーヒー』をできるだけ多くの日本人に飲んでいただきたい。」というものになりました。

いままで、ブラジル国内でのみ「森のコーヒー生産者グループ」のメンバーを探してきましたが、何分、熱帯であるブラジルで、農薬不使用・化学肥料不使用の『森のコーヒー』をつくることは非常に難しく、新しいメンバーの開拓が進んでいませんでした。

そんな時、モカコーヒーの愛称で日本で親しまれているコーヒー生産国・エチオピアで、素晴らしい農薬不使用・化学肥料不使用のコーヒーを作っている農園を見つけました。

ジョン・ネットさんが理想とした、森の中でのコーヒー栽培が現実化している農園です。ジョンさんが、そこに戻ろうと目標にしたエチオピアの農園が、「森のコーヒー生産者グループ」に加わってくれることになりました。その農園の名前は、「シャキツソ農園」。エチオピアのシダモ県、オロミア南にあるグジ地区にあります。オーナーは、ハイレ・ゲブレ氏です。
(裏面へ→)

この農園は、レインフォレストアライアンスやフェアトレードの認証も取得しており、私達の「森のコーヒー生産者グループ」の3つの条件（①すばらしい、きわだつ美味しさのあるコーヒーを生産していること。②農薬・化学肥料不使用でコーヒーを生産していること。③農園で働く人たちを大事にしていること。）も満たしています。また、日本政府の有機認証である JAS 有機認証を含む複数の有機認証を取得しています。もちろん、有機栽培で、素晴らしい風味のコーヒーを作っています。

2018年4月1日以降製造分の「森のコーヒー」から、シャキッソ農園のコーヒーも使用してゆきます。ぜひ、「森のコーヒー生産者グループ」の新メンバー・シャキッソ農園のハイレ・ゲブレ氏をあたたかくお迎えいただきますようお願い申し上げます。

今後も、私たちのミッションを達成するため、ジョン・ネットさんと同じような考え方で農薬不使用・化学肥料不使用のおいしいコーヒーを作っている「森のコーヒー生産者」を探してゆこうと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

株式会社カフェパウリスタ
社長

長谷川 勝彦